

「鍛えよう、消費者力 気づく・断る・相談する」を使って学ぶ

# 中学校技術・家庭科「消費生活・環境」での授業展開例



## 「鍛えよう、消費者力 気づく・断る・相談する」を使って学ぶ 中学校技術・家庭科 「消費生活・環境」での授業展開例

関東第一高等学校 教諭 高山さやか

消費者庁の体験型教材「鍛えよう、消費者力 気づく・断る・相談する」を使った、中学校技術・家庭科「消費生活・環境」での授業展開例について、報告します。授業を通じて、金銭の管理と購入、消費者の権利と責任に関する課題を持つことの大切さを学びます。持続可能な社会の構築に向けて考え工夫し、よりよい生活を創造する消費者力を身につけましょう。

消費者庁 体験型教材「鍛えよう、消費者力 気づく・断る・相談する」

URL: <https://www.kportal.caa.go.jp/shohisha-ryoku/>

### 1. 本授業で学べる指導事項(学習指導要領より)

中学校学習指導要領(平成29年3月告示)

第8節 技術・家庭 第2 各分野の目標及び内容(家庭分野) 2 内容 C 消費生活・環境

- ・購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解すること。【C(1)ア(ア)】
- ・売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解し、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできること。【C(1)ア(イ)】

### 2. 単元の評価規準

知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性を理解している。</li><li>・ 売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解している。</li><li>・ 自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響を考え、消費者の基本的な権利と責任を理解している。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 店舗販売と無店舗販売それぞれの特徴をとらえ、購入時の注意点を考えることができる。</li><li>・ 持続可能な社会の観点から情報を収集・整理し、物資・サービスを選択しようとしている。</li><li>・ 循環型社会を意識した消費生活のしくみについて表現することができる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 調べたことをもとに、自分の生活を振り返ることができる。</li><li>・ 学習したことをこれからの生活に生かそうと、行動計画を立てることができる。</li></ul>

### 3. 単元の指導計画(全8時間)

時程	主な学習活動	主な評価
1	<b>金銭の管理と購入</b> <b>テキスト教材【ネットトラブル(課金)】</b> ○必要なものとほしいもののちがいや、商品購入のプロセスを理解する。 ○支払い方法の特徴を知り、三者間契約の仕組みをもとに、即時払いと後払いを比較しながら、クレジットカード利用の長所や短所を考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性を理解している。(知識・技能)</li> </ul>
2	<b>契約と消費者トラブルの解決方法</b> <b>テキスト教材【美容医療】</b> ○購入方法の特徴をとらえ、物資・サービスの選択に必要な情報を活用する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●店舗販売と無店舗販売それぞれの特徴をとらえ、購入時の注意点を考えることができる。(思考力・判断力・表現力)</li> <li>●売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解している。(知識・技能)</li> </ul>
3	<b>消費者の権利と責任</b> ○環境や社会に及ぼす影響について考えながら、購入するTシャツを選ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響を考え、消費者の基本的な権利と責任を理解している。(知識・技能)</li> <li>●持続可能な社会の観点から情報を収集・整理し、物資・サービスを選択しようとしている。(思考力・判断力・表現力)</li> </ul>
4 5 7	○これまでの学習を振り返り、自分の消費生活がどのように成り立っているか、図や表を効果的に使いながら「消費生活のしくみ」として、1枚の用紙にまとめる。  ○「消費生活のしくみ」を読み合い、知識を深める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●循環型社会を意識した消費生活のしくみについて、表現することができる。(思考力・判断力・表現力)</li> <li>●消費者の基本的な権利と責任が分かり、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解を深めている。(知識・技能)</li> </ul>
8	<b>持続可能な社会</b> ○サステナブルという考え方やSDGsを知り、個人の視点や社会の視点から、自分の行動計画を立てる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学習したことをこれからの生活に生かそうと、行動計画を立てている。(学びに向かう力・人間性)</li> </ul>

## 4. 教材活用時間の具体的な内容【1時間目】

### テキスト教材 ネットトラブル(課金)を活用した授業

CASE04 ネットトラブル(課金)

URL: [https://www.kportal.caa.go.jp/shohisha-ryoku/teaching\\_materials/text\\_01.html](https://www.kportal.caa.go.jp/shohisha-ryoku/teaching_materials/text_01.html)

#### (1) 目標

購入方法や支払い方法の特徴を知り、計画的な金銭管理の必要性を理解する。

#### (2) 評価規準

購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性を理解している。(知識・技能)

#### (3) 本時の指導計画

時程 (分)	主な学習活動	主な評価
5分	<p><b>本時の学習課題をつかむ</b></p> <p>○ほしい物、受けたサービスはないか、それらを購入したいとき、どうするか考える。</p>	<p>●生徒が挙げる意見を物資とサービスに分けて板書し、商品の種類を理解させる。</p>
<b>商品を購入するとき、気をつけることは何だろう。</b>		
25分	<p>テキスト教材を読み、購入する際に気をつけることを理解する。</p> <p>【活動①】</p> <p>○主人公にとって、課金は「欲しい物」「必要なもの」どちらなのかを話し合う。</p> <p>【活動②】</p> <p>○課金(購入)に至るまでのプロセスで気をつけることを話し合う。</p>	<p>●その時の状況や、心情を考察させたい。</p> <p>【活用ポイント①】</p> <p>●購入前に情報収集は十分だったか、どのような方法で情報を得るとよかったかを考えさせる。【活用ポイント②】</p> <p>●未成年者取消権について触れる。</p>
10分	<p><b>支払方法の特徴を理解する。</b></p> <p>○前払い、即時払い、後払いの方法があることを知り、それぞれの長所や短所を考える。</p>	<p>●三者間契約の仕組みをもとに、即時払いと後払いを比較しながら、クレジットカード利用の長所や短所を考えさせる。</p> <p>●支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性を理解している。(知識・技能)</p>
10分	<p><b>商品を購入するときに気をつけることをまとめる。</b></p>	<p>●授業導入時に挙げた、欲しい物や受けたサービスを想起させ、今後、どうするかを考えさせる。</p>
<b>正確な情報を集め、計画的に必要なものを購入する。</b>		
	<p>○これからの生活で活かしたいことを記述する。</p>	

## (4) 教材の活用ポイント

### 【活用ポイント①】

本当に必要な物資やサービスを購入するときは、ニーズであるのかウオント(欲求)であるのかを考え、情報を得たり購入方法や予算、支払い方法を決めたりしながら、意思決定をする。さらに、意思決定後には、消費行動を評価することで、次の消費行動へと活かしたい。

生徒の多くは、「勝ちたい」「人と合わせたい」「誰かに認められたい」という思いをもった経験があるだろう。本教材は、「課金購入前」「課金を繰り返す」「多額を請求される」大きく3つの場面展開になっている。マンガの主人公の立場になり、どのような場面で、なぜ、購買意欲をかき立てられたのかを考えさせたい。生徒の実態によっては、【解説!オンラインゲームの「課金トラブル」はなぜ起こるのか どうして課金したくなるの?】(下図右)を参照されたい。



CASE 04 解説! オンラインゲームの「課金トラブル」はなぜ起こる?

### どうして課金したくなるの?

必要以上に課金を行ってしまう場合、次のような行動や思考・心理が影響していることがあります。詳しくは以降のページを見てみましょう。

- ① イベントをクリアしたい・強くなりたい
- ② 周りも課金しているから
- ③ 承認欲求を満たしたい
- ④ 課金が少額だと、手軽に始めやすい
- ⑤ ゲームサイト自体が課金したくなる仕組みを作っている
- ⑥ 自覚がない場合も

消費教育 体験型教材「購入しよう、消費意欲 気づく-知る-相談する」

### 【活用ポイント②】

主人公は、ストーリーの途中で、「購入しない」という判断をすることもできただろう。【解説! 課金トラブルに遭う前に! 異変に気づくポイント 課金する前に気づき、立ち止まるには】(下図左)を活用にしてもよい。

購入プロセスで、大きく左右するのは情報である。得た情報は信頼性があるのか、批判的思考力ももつ必要がある。それと同時に、どのような方法で情報を集めると良いか、誰に相談すればよいのかも考えさせたい。(下図右参照)

CASE 04 解説! 課金トラブルに遭う前に! 異変に「気づく」ポイント

### 課金する前に気づき、立ち止まるには

例えば、事例の主人公シヨウタが課金する前に気づき、立ち止まるためには、以下のポイントに注意をする必要があります。

<p>① ゲームのインストール画面</p> <p>「アプリ内課金があります」等、課金が必要なことについて表示されている可能性があります。</p>	<p>② ゲームの攻略チャンネル画面</p> <p>動画の内容は信頼できるのか、課金が必要なのか等、疑いの目をもつことで気づける可能性があります。</p>	<p>③ 課金時の年齢確認画面</p> <p>年齢を偽るなどの問題の重大さに気づいて課金をやめる、または保護者に相談することが大切です。</p>
--	---	--

消費教育 体験型教材「購入しよう、消費意欲 気づく-知る-相談する」

CASE 04 解説! オンラインゲームの「課金トラブル」はなぜ起こる?

### どうして課金したくなるの?

その動画、信じて大丈夫? 無意識のうちに課金に誘導されているかも

事例の「攻略チャンネル」のような動画は、一般人を装ってゲーム会社等が宣伝目的で配信している可能性もあるため、注意する必要があります。すべてをうのみせず、次のように「疑いの目」をもつことが大切です。

動画の配信者は誰? ステマ※ではない?	課金あり? 課金なし?	効果は本当? (事例の場合は「最強」)
------------------------	----------------	------------------------

(※)「ステマ」とは、ステルスマーケティングのこと。消費者に特定の商品やサービスについて、宣伝と気づかれないように商品を宣伝したり、商品に関する口コミを発信したりする行為。

消費教育 体験型教材「購入しよう、消費意欲 気づく-知る-相談する」

## 5. 教材活用時間の具体的な内容【2時間目】

### テキスト教材 美容医療を活用した授業

CASE05 美容医療

URL: [https://www.kportal.caa.go.jp/shohisha-ryoku/teaching\\_materials/text\\_02.html](https://www.kportal.caa.go.jp/shohisha-ryoku/teaching_materials/text_02.html)

#### (1) 目標

売買契約のしくみについて知り、購入時の注意点を考える。消費者被害の対応について理解する。

#### (2) 評価規準

- 売買契約の仕組みや、店舗販売と無店舗販売それぞれの特徴をとらえ、購入時の注意点を考えることができる。  
(思考力・判断力・表現力)
- 消費者被害の背景とその対応について理解している。(知識・技能)

#### (3) 本時の指導計画

時程 (分)	学習活動	指導上の留意点・評価
5分	<p><b>本時の学習課題をつかむ</b></p> <p>○ 契約が成立する時や、契約に伴う権利と義務を知る。</p>	<p>● 前時のケースを例にしながら、契約内容についてお互いに意見が合致し、申し込みと承諾があれば、契約は成立することをおさえる。</p>
<b>売買契約で、気をつけることは何だろう。</b>		
20分	<p><b>購入方法の特徴を理解する。</b></p> <p>○ 店舗販売、無店舗販売のメリット、デメリットをふまえ、購入する際に気をつけることを考える。</p>	<p>● 例えば、靴を購入する場合を想定しながら考えさせる。</p> <p>◆ 売買契約のしくみや、店舗販売と無店舗販売それぞれの特徴をとらえ、購入時の注意点を考えることができる。(思考力・判断力・表現力)</p>
15分	<p><b>テキスト教材を読み、消費者被害の対応を理解する。</b></p> <p>【活動①】</p> <p>○ クリニックのカウンセラーから案内されたセリフにおいて注意すべきワードを話し合う。</p> <p>【活動②】</p> <p>○ カウンセラーの立場になって、来店者を勧誘するロールプレイングを行う。</p>	<p>● 【活動①】では、予算1万円のはずが、30万円の支出になってしまった背景を明らかにさせる。【活用ポイント③】</p> <p>● 【活動②】では、授業導入時に確認した契約のしくみを想起させる。【活用ポイント④】</p> <p>● 実際には、消費者よりも事業者の方が交渉力も情報量も多いことにふれる。</p>
10分	<p><b>商品を購入するときに気をつけることをまとめる。</b></p> <p>○ 消費者を守る法律や機関があることを理解する。</p>	<p>● 特定商取引法(クーリング・オフ制度)、消費者契約法、相談機関(窓口)を提示する。</p> <p>◆ 消費者被害の背景とその対応について理解している。(知識・技能)</p>
<b>予算や状況に合わせて購入し、消費者被害は一人で抱え込まない。</b>		
	○ これからの生活で活かしたいことを考える。	

## (4) 教材の活用ポイント

### 【活用ポイント③】

店舗販売は、消費者にとって、実物を確認できたり、購入前にその場で事業者と交渉したりするメリットがある。その反面、消費者と事業者の間には、情報の質や量、交渉力などに大きな差があるため、消費者が弱い立場になる可能性もある。

CASE 05 美容医療(エステ)

振り返り問題

**問** クリニックのカウンセラーから案内されたセリフのうち注意すべきワードは？

① サンプルのビフォーアフター画像を見せながら「こんな感じですぐに効果が出ると思います」

② 「ここに来る子は大体みんなローンで施術しているから安心してください」

③ 「当クリニックで施術を受けた方は全員が来てよかった！って言ってますし」

④ 「今日申し込めば30万円になるので大丈夫ですよ」「後日の契約になるとキャンペーン価格は適用されませんよ」

①～④のうち、当てはまると思う記号を選択してみよう！



本教材は、店舗を訪れる前の予算が1万円だったサービスのはずが、事業者との交渉によって30万円になってしまうストーリー展開になっている。マンガの主人公が、誘導されてしまったセリフを考えさせる活動を通して、正確な情報を得る力を養いたい。生徒の実態によっては、【振り返り問題】(左図)を参照されたい。

### 【活用ポイント④】

契約交渉をする場面を想定したロールプレイング(右図参照)を通して、事業者は正しい情報を伝え、消費者は正しい情報を得たり、場合によっては「契約しない」と判断したり、実践的なスキルを高めたい。

疑似体験後には、それぞれの立場から振り返ることが学びを深めるポイントとなる。事業者の役には、どのような表現をすると消費者が契約に応じたか、過大な表現をすることはなかったか問いかけたい。美容クリニックの広告規制(下図左参照)があることにふれてもよい。消費者の役には、どのような契約内容を確認したか、どのような言葉で断ったかを問いかけたい。契約してしまった、断りたかったが断れなかったという生徒が多い場合には、【対策! 美容医療トラブルに遭わないための対策は】(下図中・右)を活用してもよい。実際には、逃げづらい、断りづらい環境で、事業者は言葉巧みに契約を求めてくる場合があると注意を促したい。

CASE 05 悪徳カウンセラーの立場になって、来店者を勧誘してみよう。

悪徳カウンセラーの立場になって、来店者を勧誘してみよう。

消費者庁 体験型教材「騙えよう、消費者力 気づく・断る・相談する」

CASE 05 美容医療サービスに関するトラブルはなぜ起こる?

魅力的に見える美容医療サービスの広告、どんな注意が必要?

美容医療クリニックの広告規制について

美容医療サービスも含めた医療機関のウェブサイト、メルマガ等について、次のような表現は法律(医療法等)で禁止されています。

法律(医療法等)で禁止されている表現

- データの根拠を明確に示さず「満足度〇%」などと表示している
- 「モデル・女優の△△さんが当院で治療を受けました!」のような著名人との関連を強調する表現(比較優良広告)
- 「ビフォーアフター写真」のみを掲載し、治療内容やリスクなどの詳細な説明がない ※術前または術後の写真やイラスト等のみで通常必要とされる治療内容や費用、主なリスク等の説明が不十分なもの
- 「キャンペーン実施中!今なら〇〇円」「期間限定で50%オフ」のような虚偽広告(誇大広告)

CASE 05 美容医療サービスのトラブルに遭わないための対策は

不要な美容医療サービスのトラブルを避けるために

ポイント

■ 契約するときは、契約書などの書類をしっかりと確認(安易にサインしない!)

契約書は、契約条件や免責事項などをしっかりと確認しましょう。カウンセリング時に契約(サイン)をさせられる場合があります。この場合も、記載されている内容や条件をよく読み、不安なことがあればカウンセラーに細かく聞きましょう。納得いかない場合や不安が残る場合には、急がされたとしても契約(サイン)してはいけません。

また、契約書は専門用語や難しい表現で書かれている場合があります。理解することが難しいかもしれません。そんなときでも「わかったふり」はせず、「この言葉がわからないので教えてほしい」と質問するなど時間をかけて一つずつ確認するようにしましょう。

CASE 05 美容医療サービスのトラブルに遭わないための対策は

不要な美容医療サービスのトラブルを避けるために

■ やっぱり断りたい…そんなときは

ハッキリとした態度で「やめます」「契約しません」と答えましょう。断るのが苦手な場合には、次のような断り方もあります。

断

- 「家族(両親など)に相談してから決めるので今日は帰ります」
- 「(定期コースを勧められたら)「忙しいので通えません」
- 「(ローンを勧められたら)「ローンを組むような契約はしません」

等